

広響に入って先ず揃えなければならないのが燕尾服。父親は仕立て屋だったので頼んでみたのですが、モーニングは出来るが、あれは難しいやっとな事がないと言われ仕方なく既製品を買うことにしました。暫く演奏会で着てみて何か服自体が重く感じ調べてみると、ズボンの裾と上着の部分に小さなポケットがあり、その中に鉛の塊が入っているのを見つけました。おそらく回転した時に綺麗に見せる為の社交ダンス用の重りだと思い、必要ないので抜き取りました。

燕尾服には必ず白の蝶ネクタイと同じ生地のベストが基本ですが、シルクは直ぐに黄ばんでしまいます。そこで略式として、今はカマーバンドと遠目に白っぽく見える蝶ネクタイを身に着けています。子供のころタンスのネクタイ掛けに、普段見かけない幅が細く短い紐のような物を見つけ、母に何かと尋ねるとネクタイという答えが返ってきました。私は、それは嘘だと思っていましたが、今になって見ると自分で締める蝶ネクタイだったのです。

最近は、と言っても随分前のことですがホックで止めるだけの既製品が出ています。私は演奏会ごと気分転換に両方を使い分けています。他に黒服と白のジャケットが必要ですが、それは父に仕立ててもらいました。自然に立っている時はピッタリ。当然オーダーメイドだから何の問題もないのですが、チェロを弾く時は左腕を曲げ少し肘が上がった状態になるので左袖が短く見えるのが難点です。最近クイズ番組で、ワイシャツの裾は何故あのような形かという問題が出題されましたが、約50年前に父からその答えを聞いて知っていました。チョコちゃんに叱られずにすみません。



チェロ奏者
はたもとのぶお
畑本 伸夫

いつも広響を応援下さり、有難うございます！ 早いもので、広響に入団させていただいてから25年目になります。4年間のドイツ留学後、地元山口県に帰国し、1ヶ月後から広響のエキストラの依頼をいただき、そこから1年間、広響のエキストラとして山口から通っていました。

帰国した当時「私にはオーケストラ奏者としての素質はない」と思っていたのですが、本当に温かい雰囲気の中、段々と「オーケストラっていいな〜」と思えるようになり、そこから1年後、丁度フルートのオーディションが開催されたので、オーディションを受け、広響に入団させていただきました。

この25年の間、実は3回も！「もうフルートが吹けないかも！」という危機的な状態になりましたが、広響の同僚たち、事務局の方々、そして皆様の本当に温かい応援のおかげで、今もこうしてオーケストラ奏者として、仲間たちと共に一回一回のコンサートを精一杯、心込めて、お客様と一緒に感動を共にできるよう演奏できていることが、有難くて本当に幸せです。毎回「これがこの曲を演奏できるのも、もしかして最後かも？」と思いつつ、一音一音に精一杯の想いを込め「一期一会」。

これまでのコロナ禍で、一人の音楽家として、フルート奏者として、「そもそも音楽って何故やるのか？ 必要なのだろうか？」という疑問に、原点に立ち返りました。本当に悩み、考えました。でも、最終的に辿り着いた結論は「やっぱり人間は一人では生きていけない！人と感動を共有することにより生きている感動を実感できる生き物なんだ！」と思いました。（これは、あくまで私の結論）

ご縁があって、こうして今この私の文章をお読みいただいていると思います。「袖振り合うも多生の縁」という言葉もありますが、これからもどうか広響の応援をよろしくお願いたします！ 最後までお読みいただき、有難うございます！



フルート奏者
なかむら
中村 めぐみ

2023年度シーズンが開幕しました。広響創立60周年、そして下野ラストイヤーを飾るべく、一丸となって励んでまいります。応援よろしくお願いたします。広響の演奏会や最新情報はホームページ、Facebook、Twitterをご覧ください。



TREND HIROKYO



公益社団法人 広島交響楽協会

〒730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル2F
TEL 082-532-3080 FAX 082-532-3081 URL <http://hirokkyo.or.jp> E-mail info@hirokkyo.or.jp

創立60周年、そして下野竜也音楽総監督のラストイヤー

広島交響楽団創立60周年を迎える2023年度、そして音楽総監督である下野竜也との最後のシーズンがスタートしました。先人から受け継いだ熱い想い、「音楽による平和」を次の世代に繋いでいくことを祈念して掲げたテーマは「繋ぐ」。音楽監督のバトンには現・首席客演指揮者のクリスティアン・アルミンクに繋がります。魅力的な指揮者、ソリストを迎えての多彩で挑戦的なプログラムに今年度もどうかご期待ください。

一4月～6月のラインナップ

シーズン幕開けとなる第430回定期演奏会(4/16開催)はブラームスの交響曲第1番で。巨匠カサドシュが待望の再登壇、クラリネットの橋本杏奈がフィンジの悲哀の旋律に祈りを込めます。第431回定期演奏会(5/18開催)では楽団の創立60周年と五嶋みどり

ビュー40周年をともに祝います。第432回定期演奏会(6/9開催)は広響ミュージック・パートナーのフォルクハルト・シュトイデと指揮者なしで挑むブラームスの協奏曲とベートーヴェンの交響曲第7番。同じ内容で大阪公演(6/11開催)も行います。

下野音楽総監督がプロデュースするディスカバーリー・シリーズは「日本人の交響曲と交響曲の父」と題して、就任以来大切にしてきた邦人作品の紹介を軸にハイドンの交響曲を共にお届けします。第1回(6/2開催)では外山雄三の交響曲とハイドンの第100番「軍隊」、第101番「時計」を取り上げます。

音楽の花束「春」(5/28開催)の幕開けはリーズ国際ピアノコンクール2位入賞等、その実力が注目される小林海都によるチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番。バロック、古典のオーソリティーとして定評のある鈴木秀美

とのペーターヴェンの「田園」にも期待が高まります。

各地の音響の優れたホールからお送りする地域定期演奏会、第26回廿日市定期演奏会(4/23開催)では広響第3代音楽監督を務めた高関健が3年ぶりに登壇。ブラームスの交響曲第4番を奏でます。ますます意欲的に活動するピアニスト横山幸雄はブラームスの協奏曲第2番でその本領を發揮します。第30回島根定期演奏会(6/25開催)は、リニューアルしたグラントワで下野竜也音楽総監督とドヴォルザークの交響曲第8番を響かせます。広響首席チェロ奏者のマーティン・スタンツェライトのソロでおおくりするシューマンの協奏曲にもご注目下さい。

2023イヤーブックはこちらから



会員募集中 ディスカバリー、名曲コンサート、中期定期、ふくやま定期

ディスカバーリー会員 (6/1まで受付)	ディスカバリー・シリーズ ～日本人の交響曲と交響曲の父～(全4公演) S席14,900円/A席12,100円/B席9,300円	あなただけのマイシートで毎回ご鑑賞いただけるほか、追加でチケットをご購入の際は割引価格でご購入いただけるなど、お得な特典をご用意しております。(詳しくはイヤーブック、HPをご覧ください。)
名曲コンサート会員 (5/26まで受付)	クラシックの名曲を、華やかな会場でご鑑賞いただく名曲コンサート(全3公演) S席9,100円/A席7,000円	
中期定期会員 (4/17～9/14まで受付)	9月から12月までの定期演奏会(全3公演) S席13,300円/A席12,100円/B席10,900円	
ふくやま定期会員 (9/29まで受付)	2024年2月18日開催の福山定期演奏会を座席指定でお得にご鑑賞いただけます。 S席3,600円	
		お申込みは広響事務局 ☎082-532-3080まで お電話ください。

下野竜也音楽総監督が「広島市民賞」を受賞しました

令和4年度広島市民賞を広響音楽総監督下野竜也が受賞しました。広島市民に夢と希望と安らぎを与え、元気な広島、住みよい広島をつくるために寄与した個人・団体に贈られるものです。以下、下野音楽総監督からのメッセージです。



このような素晴らしい賞を受賞させて頂き、心から感謝申し上げます。この受賞は、私個人ではなく、広島交響楽団と広島ウインドオーケストラの皆さんの真摯な活動への賞と心得ております。そして、何よりも音楽と平和を愛する広島市民の皆様の応援あってのことです。ありがとうございました。

広島交響楽団を応援する日に多数ご来場ありがとうございました

1月20日(金)に開催しました、「第427回 プロ改組50年記念 定期演奏会」は広島県、広島市および地元経済界の皆様より「広島交響楽団を応援する日」としてご指定いただき、演奏会へのご来場を呼び掛けていただきました。



写真右から、池田会頭、湯崎知事、松井市長、東谷理事長

コロナ禍以降、来場者の減少に苦戦する中、多くのお客様にご来場いただき、改めて心より感謝申し上げます。

演奏会当日は湯崎広島県知事、松井広島市長、池田広島商工会議所会頭もご来場いただき、休憩時間を利用してロビーで報道関係者からの取材にお応えいただきました。

ファン感謝デーを開催しました

1月22日(日)広島文化学園HBGホールにて、広響会員様を対象とした「広響ファン感謝デーコンサート」を開催しました。

前半は下野竜也音楽総監督の指揮でオーケストラの演奏を、後半は楽団員によるアンサンブルステージをおおくりしました。直接の触れ合いが制限される中、コンサート形式ではありますが、お客様にお楽しみいただきたい一心で色々趣向を凝らしました。私たちの感謝の気持ちが届いていましたら幸いです。今後とも、応援よろしく願いいたします。



広島交響楽団創立60周年記念事業への寄付のお願い

創立60周年を迎え、これまで当楽団を支えていただいた多くの皆さまへの感謝の意を表するとともに、当楽団の今後のさらなる飛躍を期して記念事業を計画しております。

事業費用は、できる限り事業収入や自己資金、国・民間の助成金により手当をしていますが、止むを得ず不足する部分につきまして、ご寄付を募らせていただいております。

事情をご賢察のうえ、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは広響ホームページをご覧ください。か、広響事務局(TEL082-532-3080)までご連絡ください。

<http://hirokyo.or.jp/news/20327.html>



広響ホームページ
詳細情報はコチラ▶

広響NEWS

退団のお知らせ

オーボエ奏者の柴滋が2月28日付で退団いたしました。本人から皆様へメッセージです。
●昭和59年、渡邊暁雄先生が音楽監督就任時、そしてカープが日本シリーズで阪急を降し優勝した年に入団いたしました。広響もカープのように皆様に愛され、格別のご厚情を賜り御礼申し上げます。オーケストラは定年ですが、音楽は一生現役と考え、まだまだ精進していく想いです。これからはOBとしてファンとして広響を見守っていきたく思います。ありがとうございました。
ヴァイオリン奏者の盛田恵が4月30日付で退団いたします。本人から皆様へメッセージです。
●今日が私にとって在団最後のコンサートになります。広響に1982年4月に入団したので約41年間、人生の殆どを広響と共に過ごして来ました。皆様長い間本当にありがとうございました。これからも地元広島で頑張りますので広響同様よろしくお願い致します。



柴滋



盛田恵

入団のお知らせ

3月1日付でヴァイオリン奏者の比奈本茜が入団いたしました。本人から皆様へメッセージです。
●はじめまして。3月から入団させていただくことになりました比奈本茜です。国際平和文化都市、広島で演奏活動ができることをとても嬉しく思います。新型コロナウイルス以降、世界情勢が続いておりますが、演奏会が開催できることに感謝して音楽で平和の祈りを届けられるよう誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。
4月1日付でヴァイオリン奏者の山賀聖太が入団いたしました。本人から皆様へメッセージです。
●はじめまして。4月より入団させていただくことになりました山賀聖太です。広島は自然が豊かで好きな街の一つです。そのような場所で、広島交響楽団の温かい皆様と共に演奏活動ができることをとても嬉しく思っております。聴いて下さる方に良い音楽を届けられるよう、精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



比奈本茜



山賀聖太

音楽の芽プロジェクト



マイタウンオーケストラ広響2023

「マエストロ・シモーノといっしょに ミート・ザ・広響」を開催しました

3月25日にJMSアステールプラザで「マイタウンオーケストラ2023」を開催いたしました。3歳以上からご入場いただけるお子様向けの公演として毎年ご好評をいただいております。

今年も昨年に引き続き、「マエストロ・シモーノ」こと、下野音楽総監督の指揮で、オーケストラの迫力ある演奏をご家族でお楽しみいただきました。またシモーノがユー



モアたっぷりに紹介する各楽器とその音色に子ども達も熱心に耳を傾けてくれました。

オーケストラの日 「ふるさとシンフォニー in 天応」を開催しました

広響の「音楽の芽プロジェクト」の一環、また3月31日(ミミにいちばん、ミミにいいひ!)の「オーケストラの日」にちなんで、「ふるさとシンフォニー in 天応」を3月23日、呉市立天応小学校体育館で開催しました。

呉市立天応小・中学校の児童生徒と地域の方々をお招きして下野竜也音楽総監督の指揮で、聴き馴染みのある名曲をお届けしたほか、4月から天応小・中学校が義務教育学校として開校するにあたり、新しく

作られた天応学園の校歌をオーケストラの演奏で披露しました。

校歌の作曲をした奥村愛さんのピアノ演奏と児童生徒の皆さんの歌声も加わって



会場に温かく響き、心に残る演奏会になりました。



ツネシ財団主催

福山定期演奏会 リハーサル・バックステージツアーを開催しました

2月5日に開催した「福山定期演奏会」において、ツネシ財団主催の「リハーサル・バックステージツアー」をおこないました。

事前にお申込みいただいた小・中・高校生の約110名が参加し、演奏会直前のステージ見学とゲネプロ(最終リハーサル)を客席で鑑賞いただきました。

普段はなかなか見られないバックステージで、奏者の練習風景やオーケストラが演奏会を作り上げる様子を見て、「オーケストラや音楽への関心がより深まる機会になった」との感想もいただきました。

参加者の皆様、主催のネイシ財団様、ありがとうございました。



広響音楽総監督 下野竜也が小・中学生(各公演ペア1組)をご招待! 好評受付中!

〈リトル・マエストロ〉シート

広響音楽総監督の下野竜也が、小・中学生とその保護者を定期演奏会にご招待します。子どもたちのために下野がご用意した〈リトル・マエストロ〉シートで、広島交響楽団の演奏とともに特別な時間をお届けします。応募方法をご確認のうえ、ふるってご応募ください。

お問い合わせ/広響事務局 082-532-3080

応募方法

- 1 応募資格 小学生または中学生とその保護者のペア1組
- 2 対象公演 2023年度定期演奏会全10公演(詳しい公演内容は広響HPをご覧ください。)
- 3 応募方法 件名を「〈リトル・マエストロ〉シート申込み」とし、以下①～⑤を明記の上、Eメールにて[ticket@hirokyo.or.jp]宛てにご応募ください。

- ①ご来場者2名のお名前
- ②お電話番号
- ③小・中学生の学年
- ④ご希望の演奏会
- ⑤Eメールアドレス

お申込み多数の場合は抽選とし、当選者(各公演ペア1組)には、公演2週間前までにEメールにてご連絡します。抽選結果はEメールでのご連絡をもって代えさせていただきます。

- 4 募集期間 各公演日の3週間前必着